

〔国際会議開催〕

申請者	大阪公立大学 大学院工学研究所 准教授 永瀬 隆	2225011
国際会議名称	ナノ分子エレクトロニクスに関する国際会議（ICNME2022）	
開催期間	2022 年 12 月 12 日～12 月 14 日	
開催場所	東京工業大学大岡山キャンパスくらまえホール（東京都目黒区）	
申請者の役割	プログラム委員長	

概要：

有機エレクトロニクスとバイオエレクトロニクスは化学、物理学、電子工学、生物学など多くの分野にまたがる学際領域であり、その発展には分野を超えた協力が不可欠である。我々は分野横断型の研究会を 1994 年から隔年開催してきた。新型コロナウイルス感染症による中断期間を挟み、13 回目となる今回は東京工業大学大岡山キャンパスくらまえホールにて対面形式で開催した。対面形式を望む声は開催前から多く、日本を含む 10 カ国から 137 名の参加者が集まり、口頭発表 39 件（基調講演等を含む）、ポスター発表 86 件という充実した会議となった。本会議は伝統的に有機エレクトロニクスとバイオエレクトロニクスの基礎研究に携わる研究者が集まるが、今回はこれらのテーマに加え、最近の研究トレンドや他のテーマとの親和性を考慮して、「触覚、ウェアラブルデバイス、フレキシブルデバイス」および「人工知能とマテリアルズ・インフォマティクス」のセッションを加えた。会議全体を通じ、大変質の高い講演が集まり、終始活発な質疑応答が行われた。また本会議では若手研究者奨励活動の一環として一般口頭講演の中から 1 件の口頭発表賞を、86 件のポスター発表の中から 7 件の学生ポスター賞を選出し、表彰を行った。本会議で発表された研究は厳正な査読を経て、Physica Status Solidi (a) の特集号に掲載される予定である。本会議の開催目的は情報交換のみならず、研究者相互の親交を深め、国際的な異分野交流を促進することにもある。研究者同士が積極的に交流を図る様子が随所で見られ、この点においても一定の役割を果たせたと考える。